

## 国分寺「第5回町歩きの家」<横浜今昔探訪>

平成28年1月22日(火)貸切バスにて、国分寺駅南口を7時30分出発、20時帰着。参加者は満席の27名で実施した。早朝福島沖震源で、M7.4の地震が発生、少し驚いた。交通機関が乱れたようだが、貸切バスでもあり、ロスなく進行できた。

行程は国分寺南口を出発(7:30)、多摩川南岸道路⇒第3京浜経由 石川町で下車、山手・イタリア山庭園着(9:30)。江戸末期「山手」に外国人の居留地が設けられ、多彩な様式の教会、学校、劇場など西洋館が次々に建てられたが、震災で失われ、近年横浜市により、明治初期の建造物が移築・保存されている。

横浜シティガイドの案内でブラフ18番館→外交官の家→(山手本通を歩き)→カトリック山手教会→ベーリックホール→エリスマン邸→外国人墓地→港の見える丘公園着(12:00)。付近のイギリス館、ローズガーデン、山手111番館、大仏次郎記念館を散策→公園前でバス乗車(12:30)→元町商店街→中華街(12:45~14:15)・重慶飯店で名物麻婆豆腐や飲茶料理をアレンジした特別ランチコースとビール、紹興酒、日本酒などアルコールを補給し、ランチタイムを満喫した。

昼食後、→横浜開港資料館着(14:30~15:30)。鴻谷正博横浜稲門会幹事長が出迎え、同席。ここはペリー提督上陸の地で、日米和親条約が締結された場所であり、生き証人の「たまくすの木(子孫)」は今も健在で茂っている。館内見学の後、TV出演・著作多数の西川武臣副館長様の講話。ペリー来港と横浜開港史を拝聴・彼等は8隻の軍艦で来港、全てに彼我の差を見せつけられ、外交関係者の苦労が忍ばれる。何はともあれ無難に乗切り、日本の開国と貿易振興を果たしたことは同慶の至りです。

記念撮影のあと→ニューグランドホテル着(15:45)~(16:15)、昭和2年建造のクラシックホテル、「プリンアラモード」などが発祥メニューで、横浜から日本中へ洋食メニューを広めた。ザ・カフェにてコーヒー/紅茶&ホテル特製スイーツでお洒落なティータイムを楽しみ→氷川丸(16:20~17:00)へ急ぎ、港に浮かぶ文化遺産を見学。閉館まで乗船し、船上からみる横浜港の夕景は見事で、最後は別れのワルツ(蛍の光)に見送られ、船を下り、横浜港に最後の別れを惜しみ、グランドホテル前を出発。

帰路へ(17:30)⇒首都高横浜線、中央高速・稲城IC、国分寺駅南口に予定通り(20:00)ジャストの帰着。

異国情緒、美食、歴史と古きゆかしい横浜を満喫し、楽しい時間を共有した。

(日置 憲二郎(記))